

アスペクト指向アーキテクチャに基づく 組み込みソフトウェアの派生開発

2010.6.18

派生開発カンファレンス2010

南山大学情報理工学部 ソフトウェア工学科

野呂 昌満

はじめに

- 組み込みソフトウェアの開発について20年位かなりまじめに考えてきた。
 - PLSEによる開発支援が多くの問題を解決すると考えている。
 - PLSEEを試作し開発に應用。
 - 一定の成果を確認。
-

経緯

20年来の企業との共同研究・開発.

- OOによる整理(分析, 設計, 再開発)
 - ソフトウェアプロセス
 - ソフトウェアアーキテクチャ
 - アスペクト指向
 - AOアーキテクチャに基づくPLSE
-

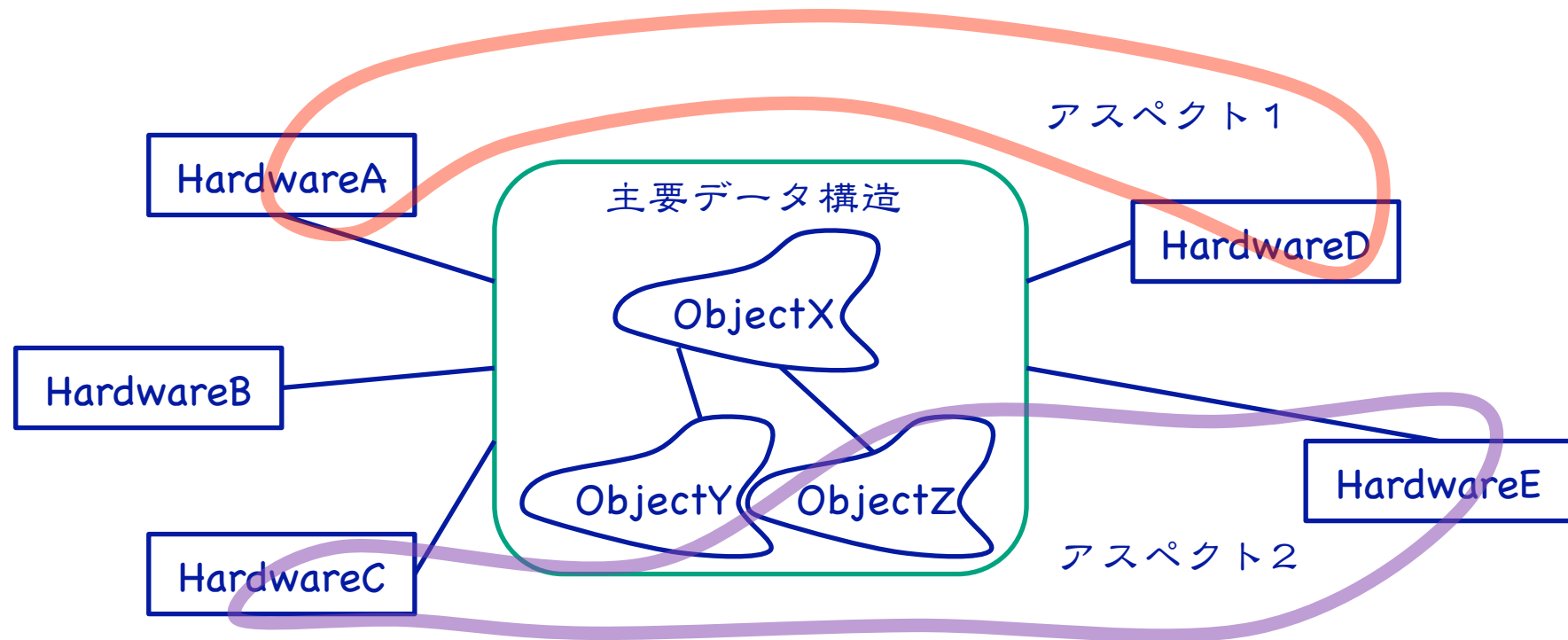
現時点における解

- E-AoSAS++(組込みソフトウェアのためのアスペクト指向ソフトウェアアーキテクチャスタイル)
 - PLSE on E-AoSAS++

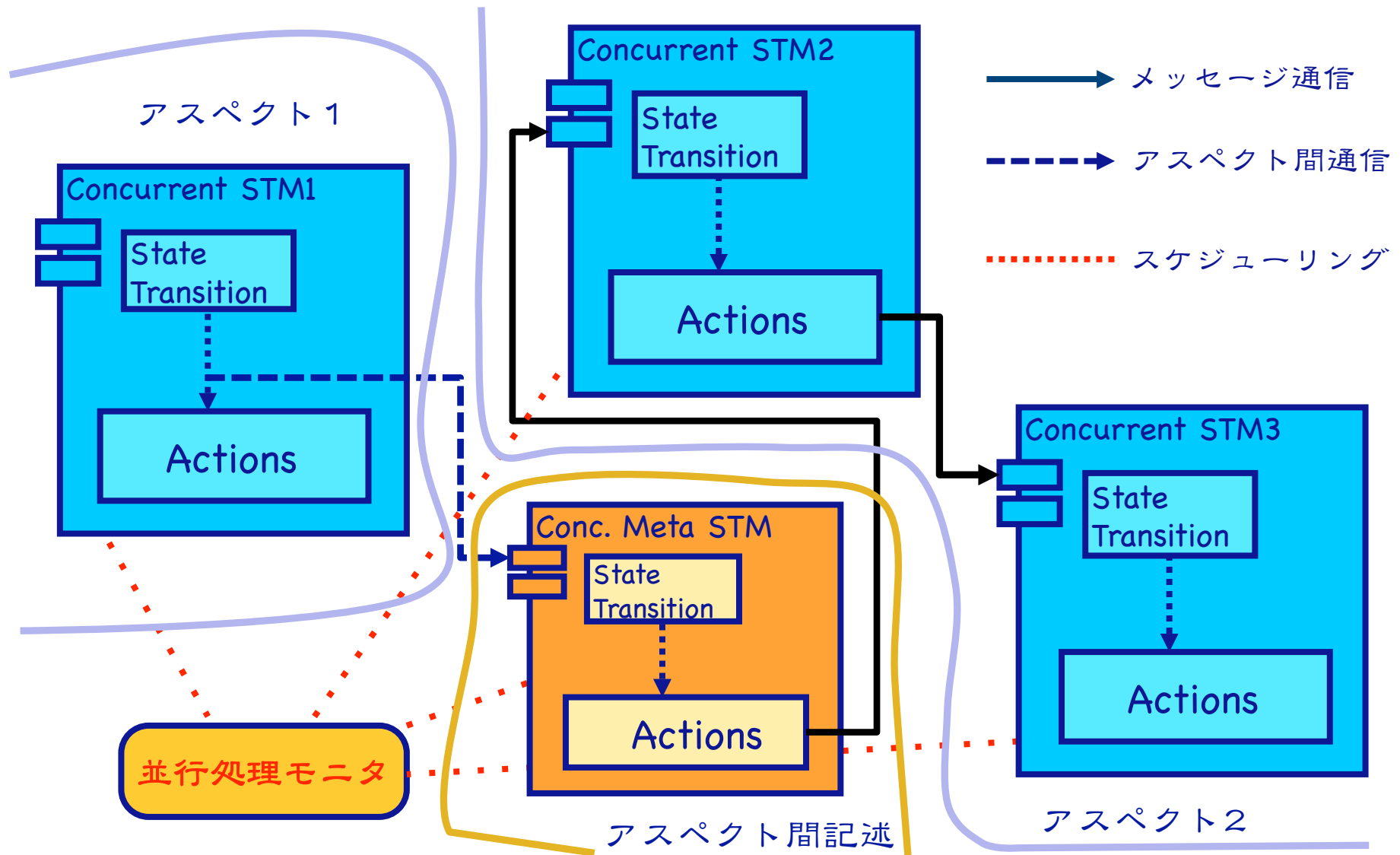
 - PLEASE(PLSE Environment based on Aspect-Oriented Software Architecture Style for Embedded Systems)
-

組み込みソフトウェアのアーキテクチャスタイル

- 並行に稼働するハードウェアを状態遷移機械でモデル化
- 主要データ構造をオブジェクト指向でモデル化
- 実時間，耐故障性等のアスペクトとの共存をモデル化



状態遷移機械によるモデル化 - E-AoSAS++ -



何故アスペクトか? - E-AoSAS++ -

いろいろ悩んだ結果...

- 並行性,
- 状態遷移,
- 耐故障性,
- 実時間性,
- エラー処理,

などの横断的関心事を認識。

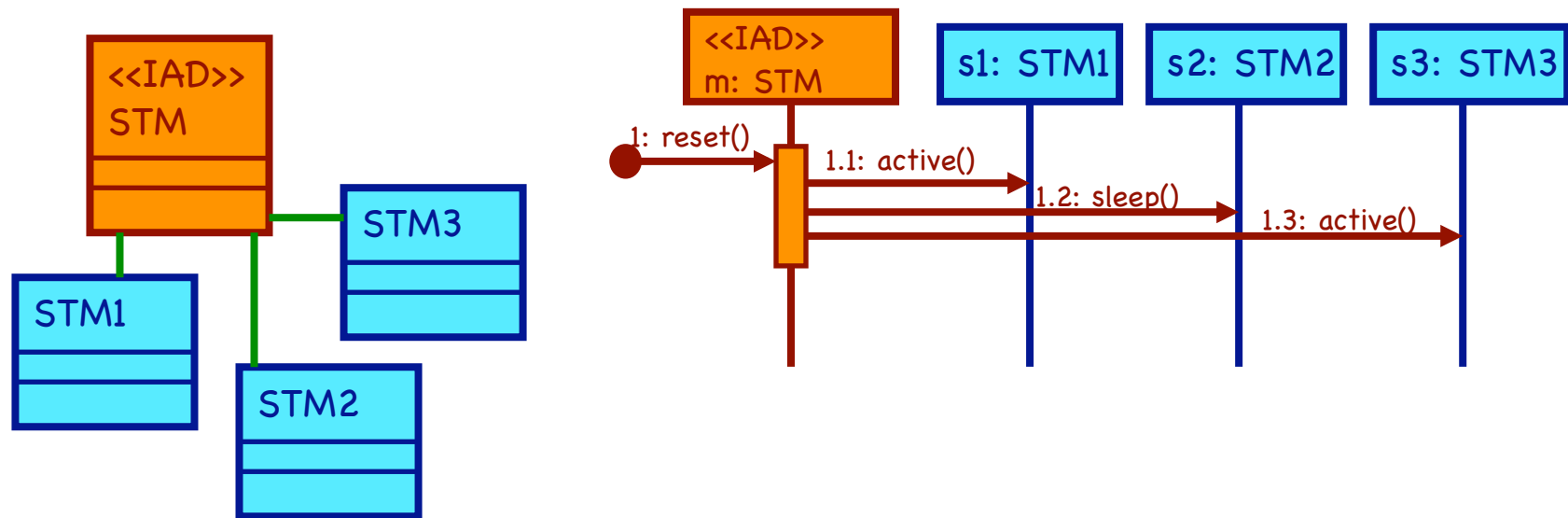
アーキテクチャ構成要素: E-AoSAS++

- System
 - 製品全体
 - View
 - 横断的関心事
 - Aspect
 - 関心事によって分割されたモジュール
 - PrimitiveCSTMの集合
 - IAD(アスペクト間記述)
 - CSTM同士の粗結合通信の記述
 - CSTM (並行状態遷移機械)
 - 基本構成要素
 - PrimitiveCSTM
 - MetaCSTM
 - CompositeSTM
 - Action
 - CSTM同士の密結合通信の記述
-

UMP(統一モジュール化パターン)- E-AoSAS++ -

ベース状態遷移機械の集合をメタ状態遷移機械が管理する。

- 状態遷移機械の集合でアスペクトを構成。メタ状態遷移機械がアスペクト間記述。
- 状態遷移機械の集合でオブジェクト集約を構成。メタ状態遷移機械が集約を管理。



UMLによるアーキテクチャ記述

- Component Diagram
 - モジュール構成, コンポーネント(CSTM)の構成関係記述
- Class Diagram
 - 各関心事 (View) におけるコンポーネントの関連
- State Machine Diagram
 - CSTMの仕様
 - 状態遷移
 - アクション
- Sequence Diagram
 - アスペクト間記述
- Object Diagram
 - CSTMの実体の数とその関連

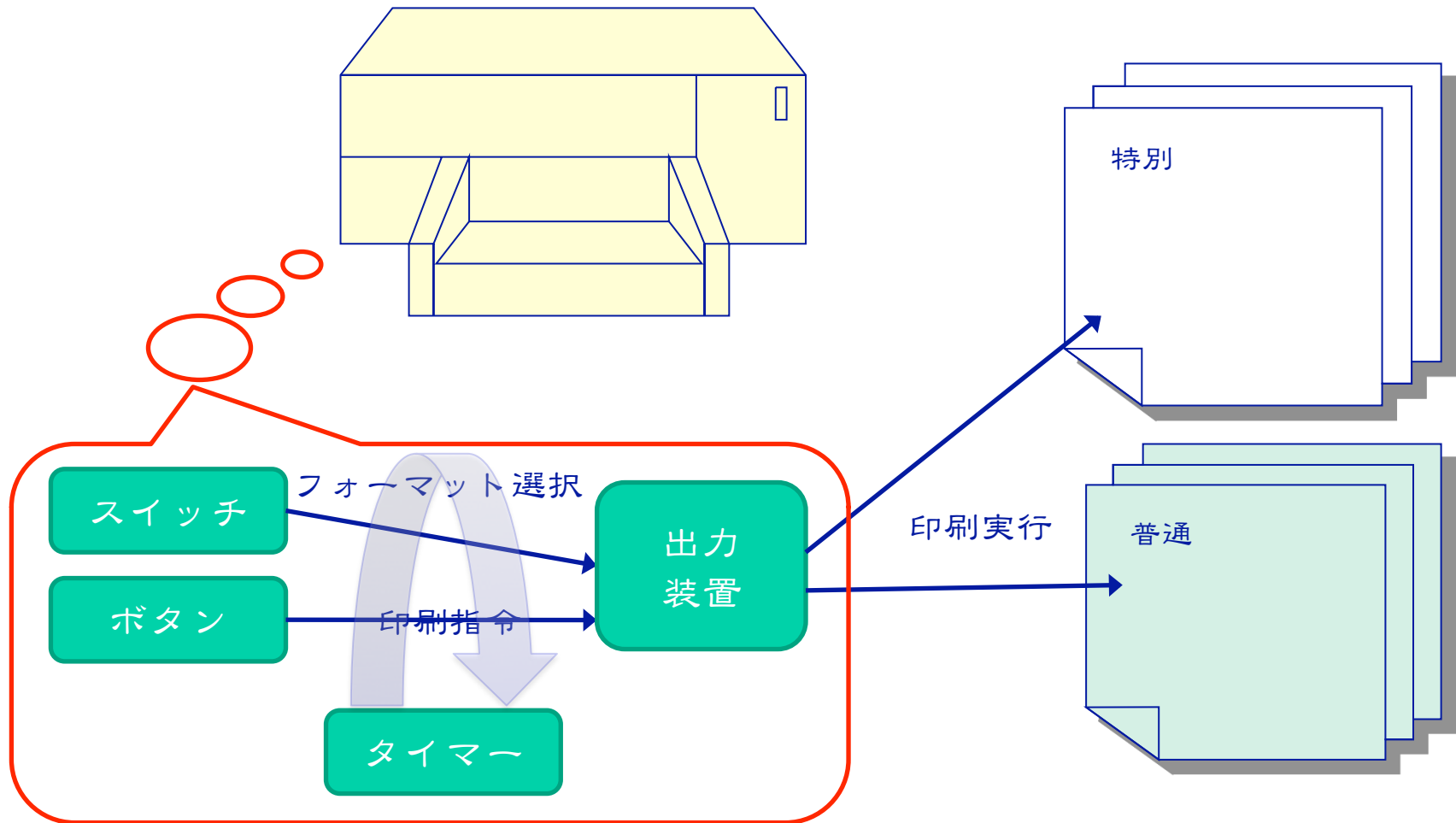
アスペクトとアスペクト間記述

- アスペクトは状態遷移機械の集合.
 - アスペクト内の状態戦機械同士は密結合.
 - アスペクト間記述はAspectJ方式を拡張し採用. (イベント駆動型システムと親和性のある記述方式)
 - 合流点(Weaving Policy)
 - 合流点のアドバイス(拡張, JP_Advice)
 - ポイントカット: Aspect Coordinator(MetaSTM)
 - アドバイス: AC_Advice(Aspect Coodinator's Action)
-

説明に使う簡単な例

- プリンタシステム
 - スイッチによって印刷の型式を変更
 - 型式には普通と特別があり，初期型式は普通
 - ボタンを押すとデータを整形し印刷
 - スイッチで型式を設定後，5秒以内にボタンを押さなければ型式は普通に復帰
 - 5秒以内にボタンが押されたら，印刷後型式を普通に戻す
 - スイッチが押されるかタイムアウトによる型式の切り替え中は，ボタンを無視
 - 印刷中は，スイッチやタイムアウトによる型式の切り替えは行わない
 - 印刷中はボタンを無視する
 - 印刷中は，ボタンが押されてからプリントアウトされるまでを指す
 - 印刷終了直後の型式は普通（特別型式でも印刷終了直後に普通型式に戻る）
-

説明に使う簡単な例：事例イメージ図

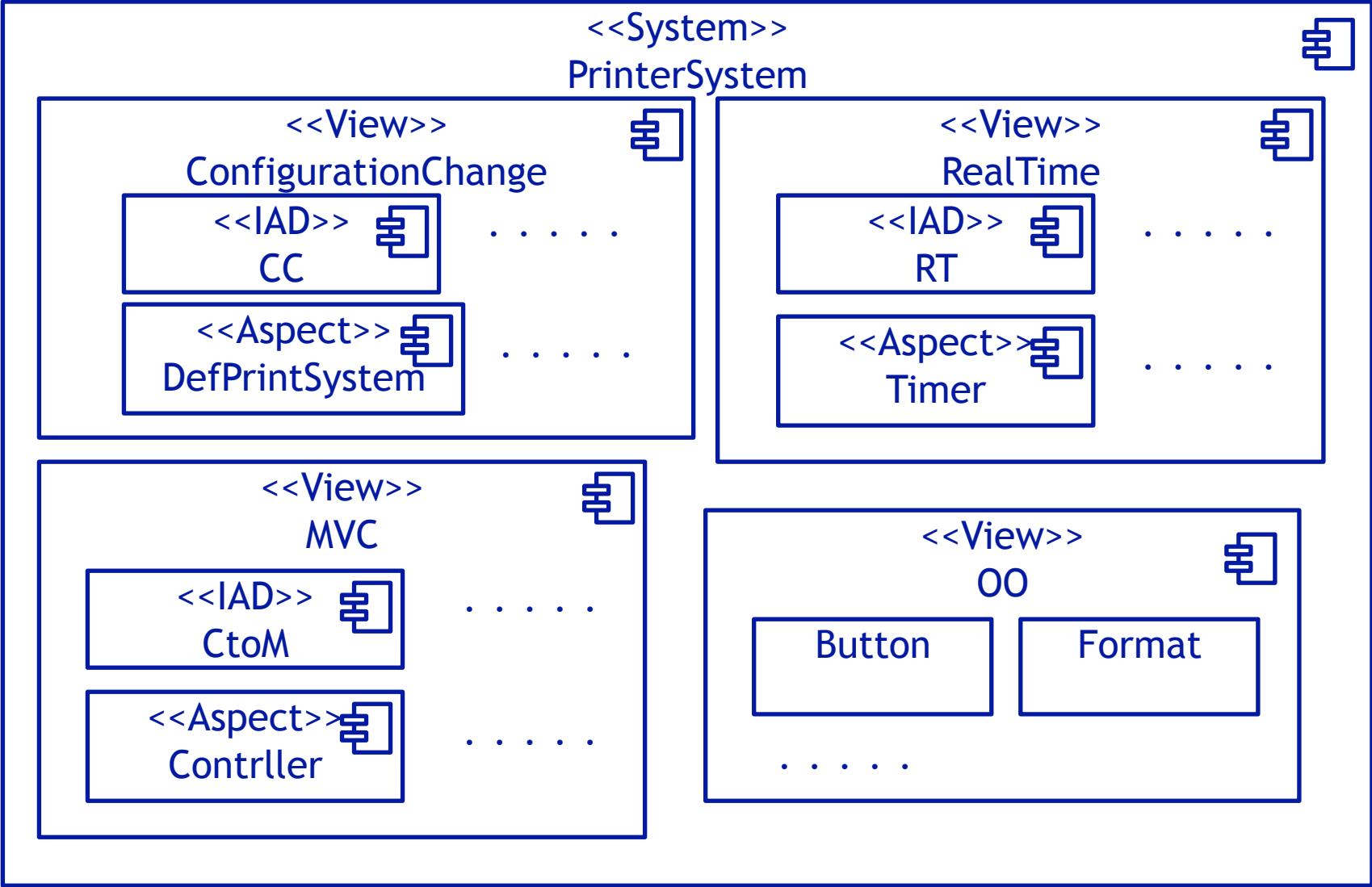


組込みソフトウェアのアーキテクチャ

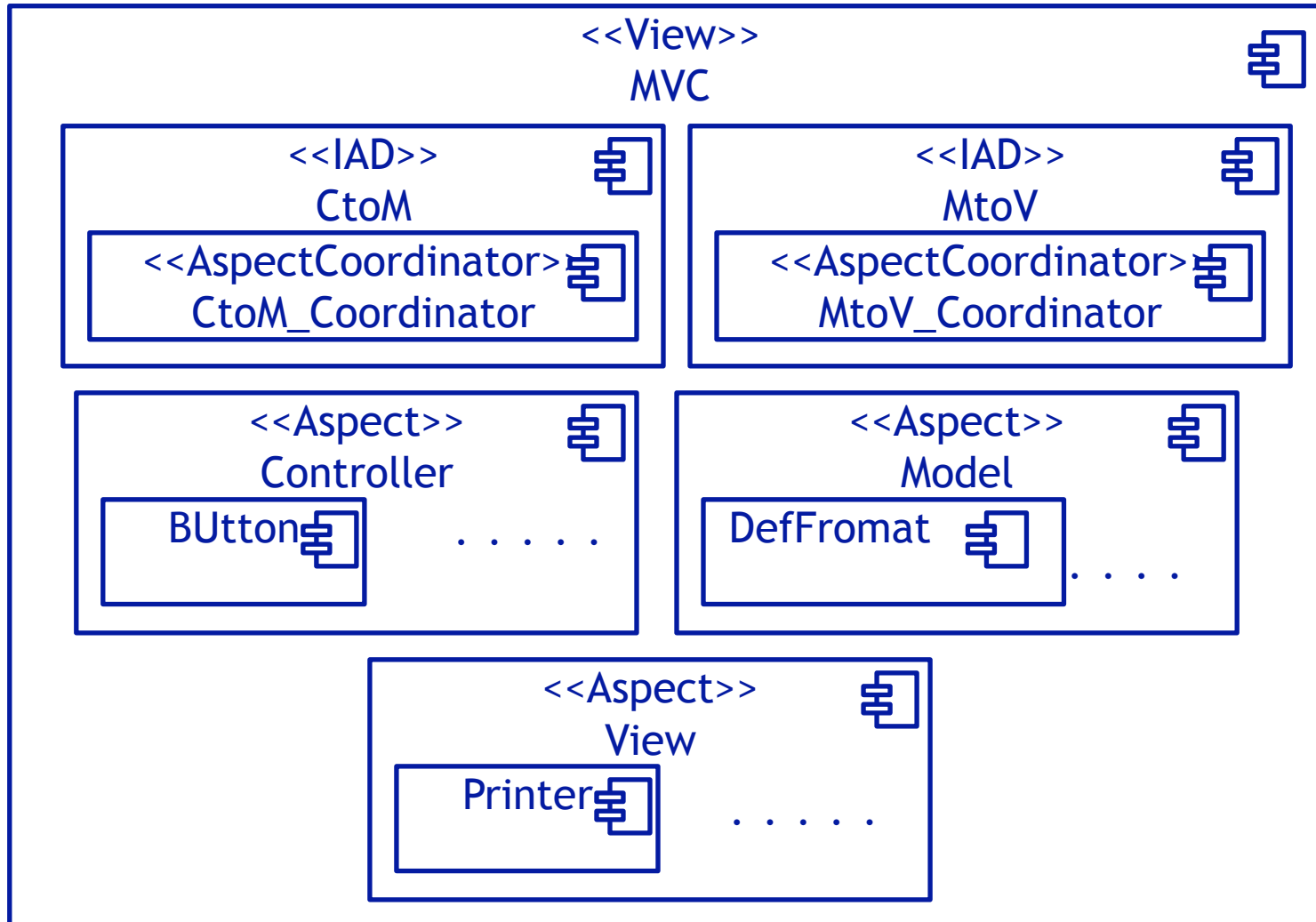
- 並行に稼働するハードウェアを状態遷移機械でモデル化
 - スイッチ, ボタン, プリンタ
 - 主要データ構造をオブジェクト指向でモデル化
 - フォーマット
 - 実時間, 耐故障性等のアスペクトとの共存をモデル化
 - 実時間アスペクト

 - 以上をMVCでモデル化
-

System

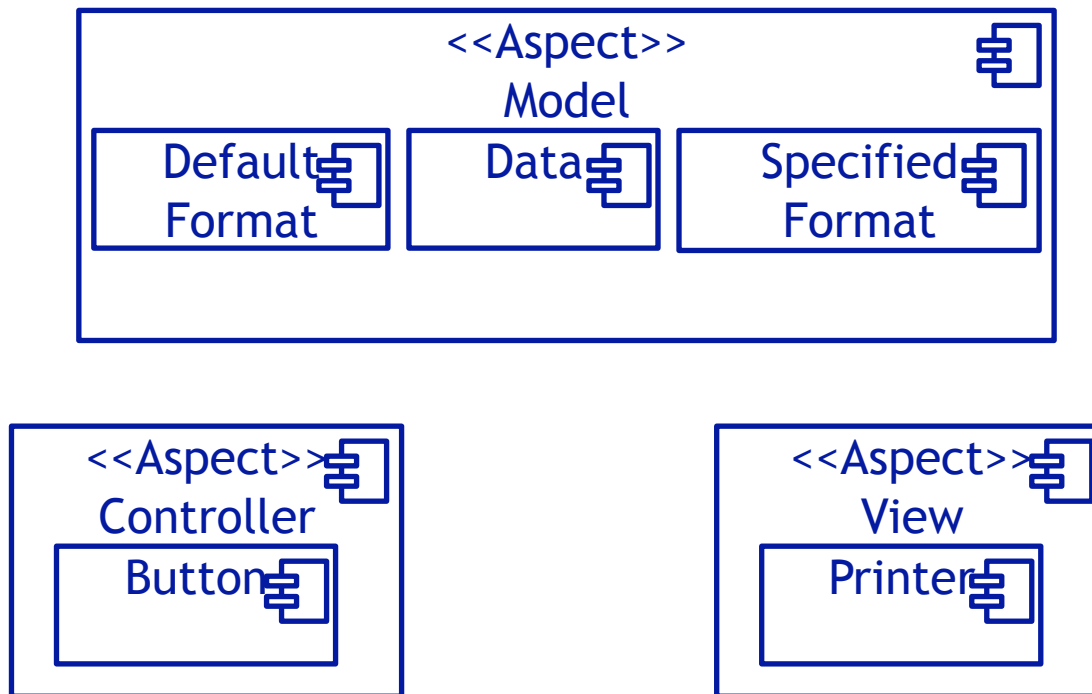


View

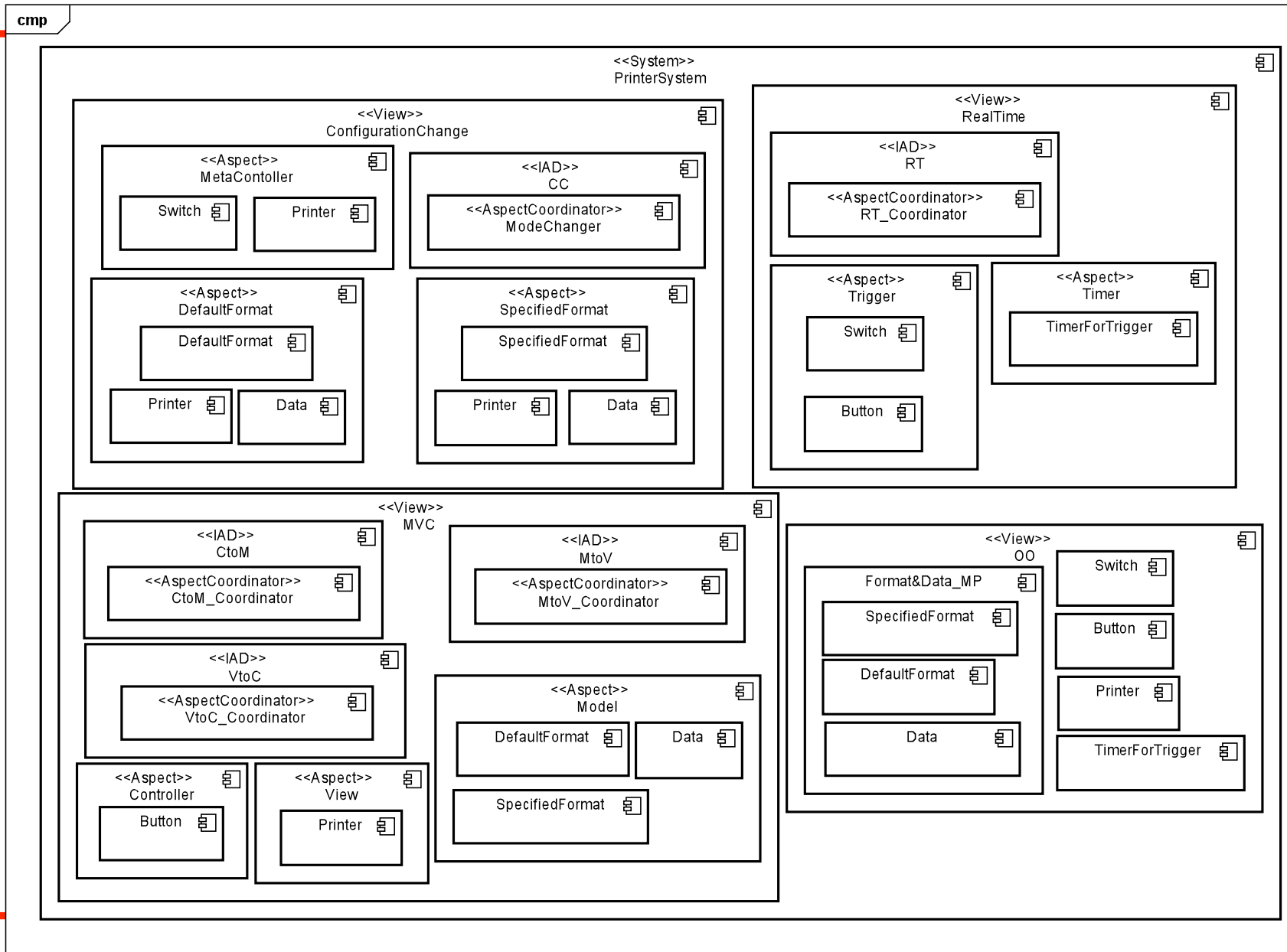


Aspect

View MVC内の各アスペクト

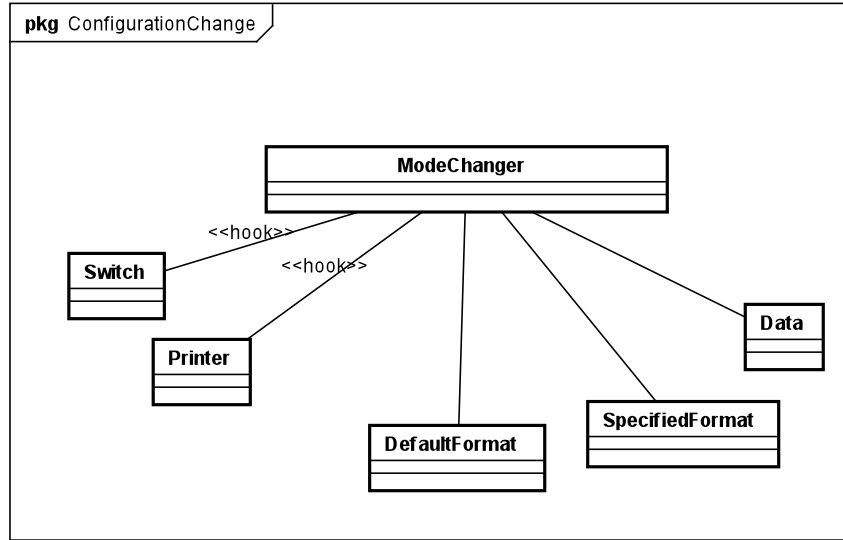


コンポーネント図 (全体)

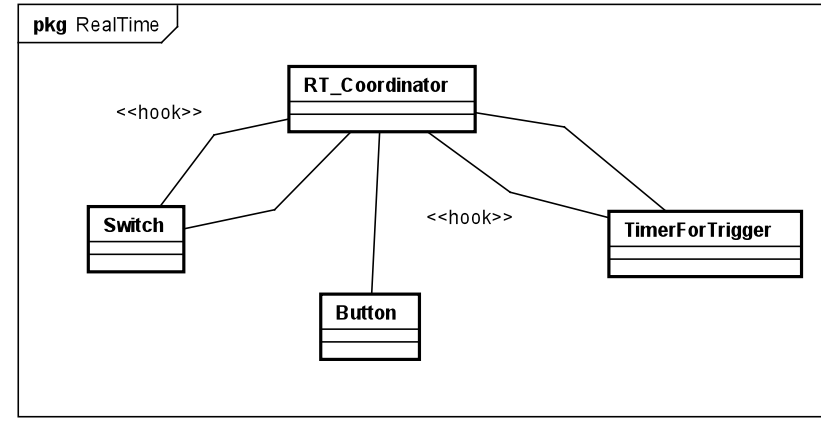


クラス図

View:ConfigurationChange

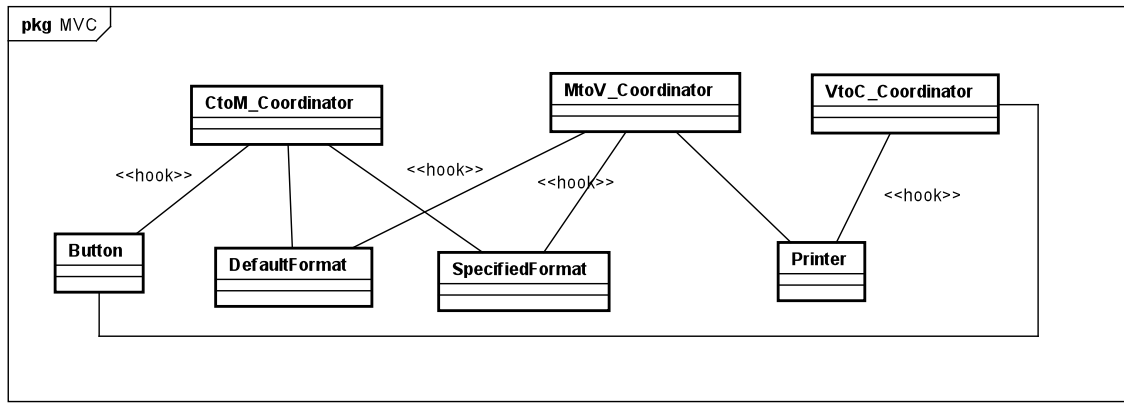


View:RealTime

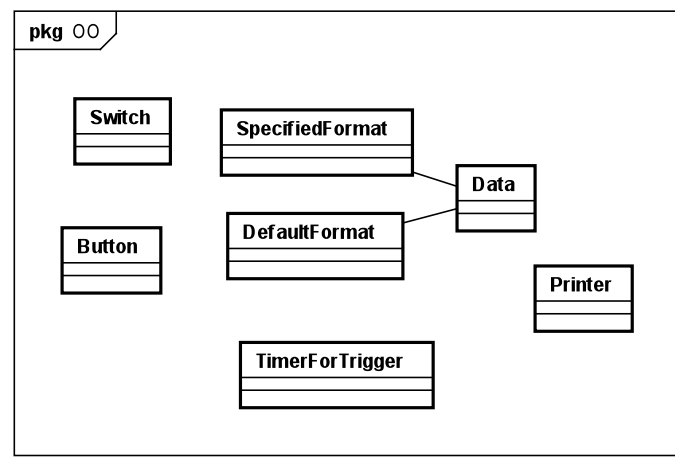


Component Relation in each View

View:MVC

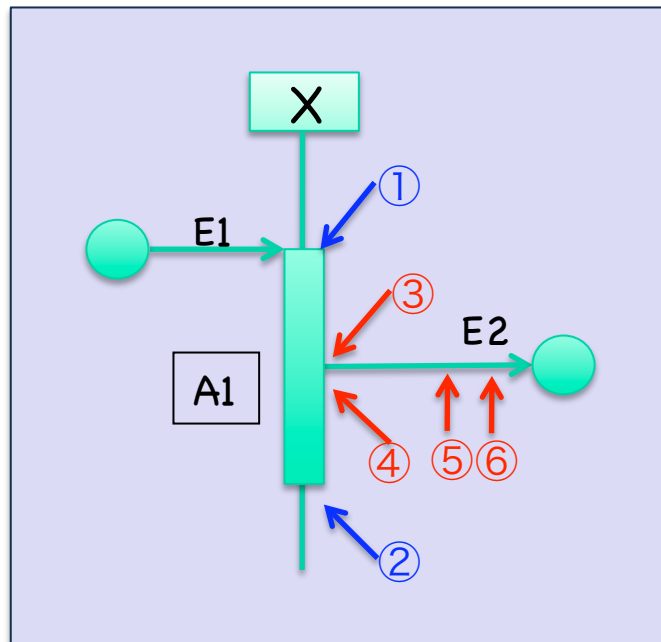
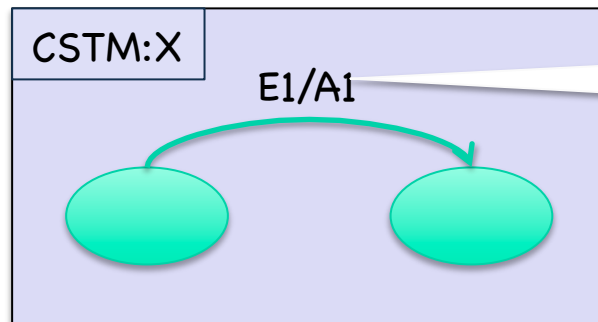


View:OO



IAD (記述法)

XのE/A図

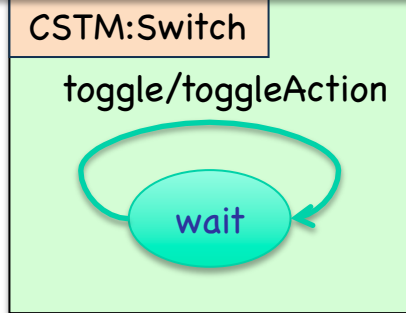


イベント受理によって ① <<Before Action>>
実行されるアクション ② <<After Action>>

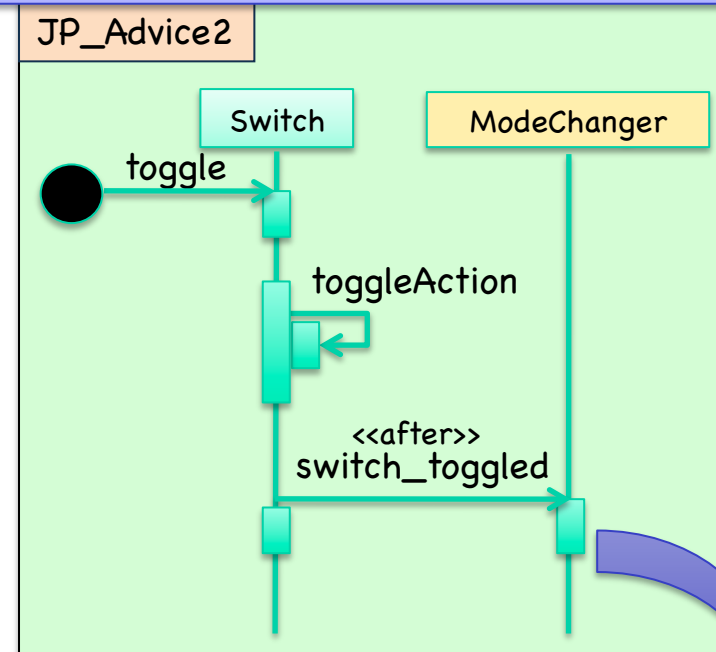
イベント生起 ③ <<Before MP>>
④ <<After MP>>
⑤ <<MP Flow>>
⑥ <<Around MP>>

IADの記述例 (アクションに対する織込み)

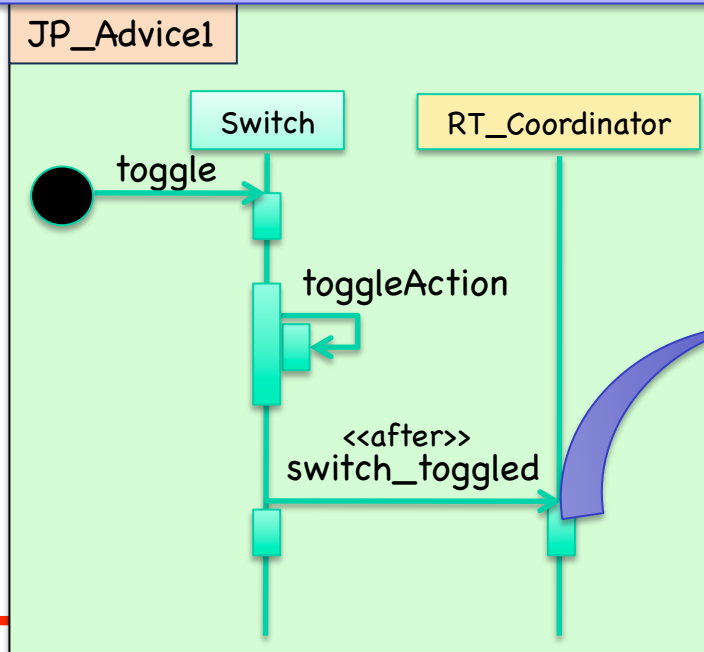
織込み定義されるCSTM



View:ConfiguratioChangeでの織込み (JP_Advice)



View:RealTimeでの織込み (JP_Advice)



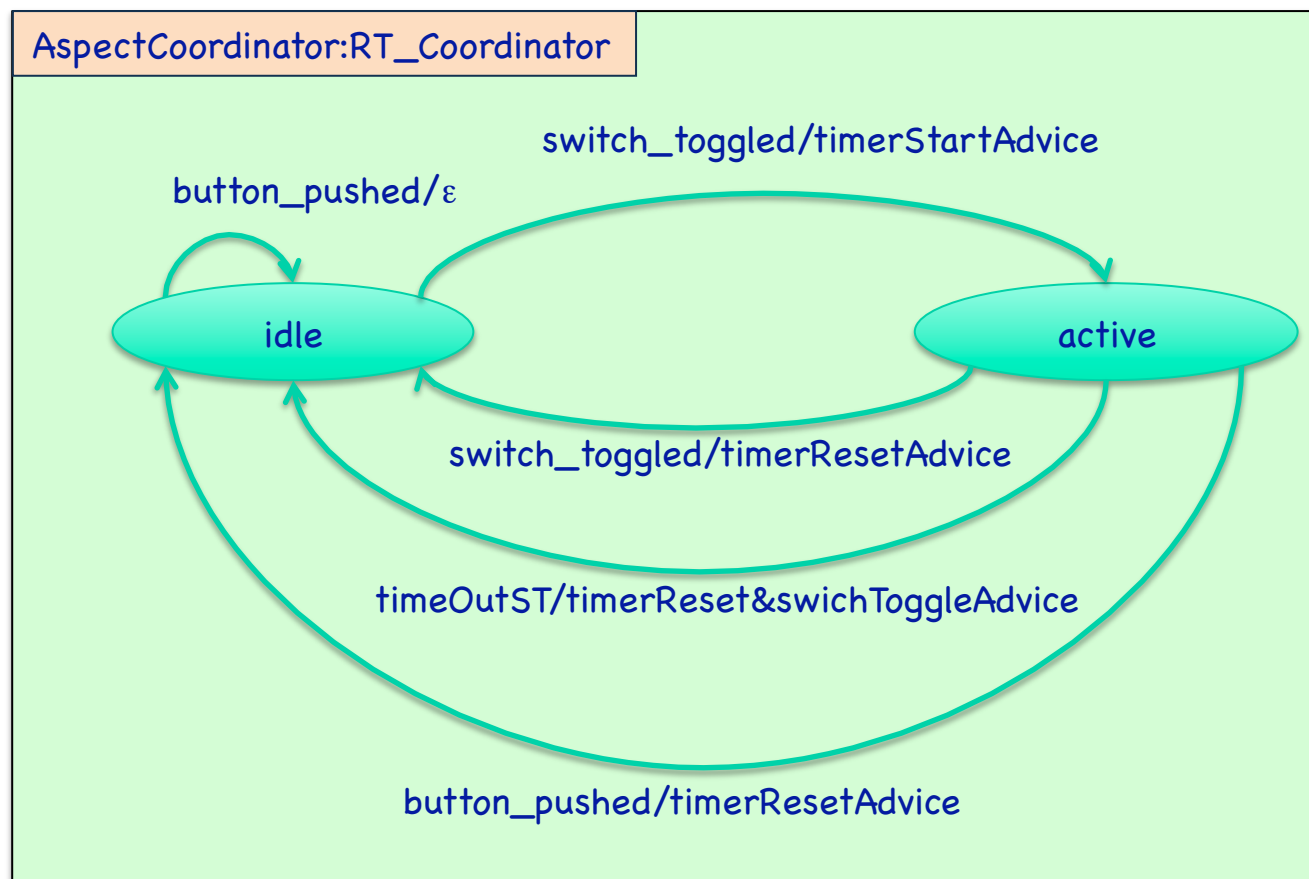
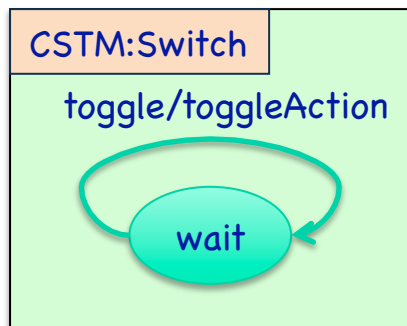
各AspectCoordinatorへ
イベントが通知される

CSTM

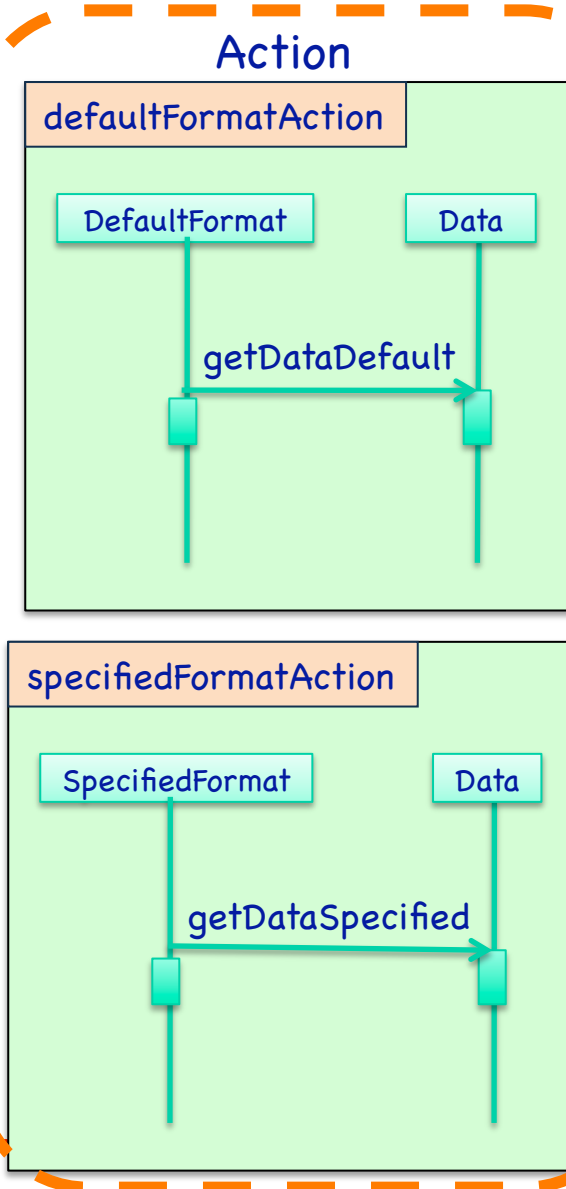
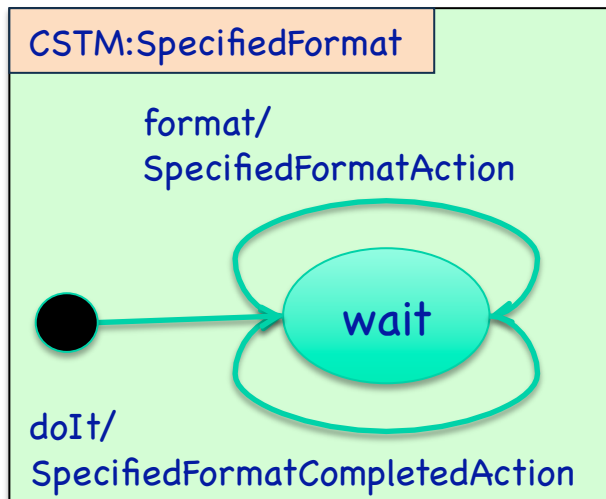
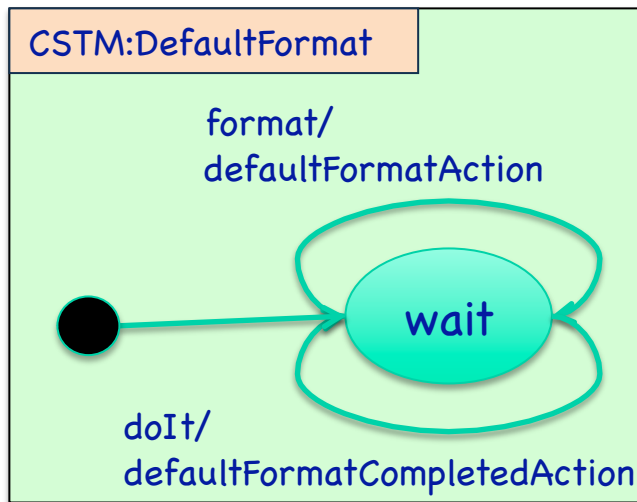
PrimitiveCSTMの仕様とAspectCoordinatorの仕様は
ステートマシン図によって記述される

AspectCoordinatorの例 (RT_Coordinator)

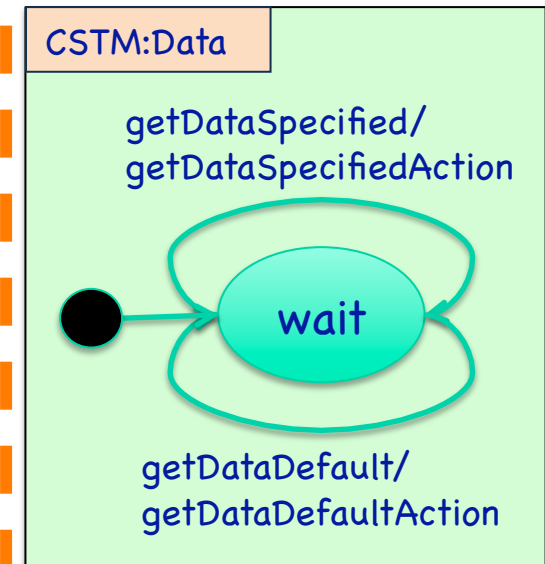
PrimitiveCSTMの例 (Switch)



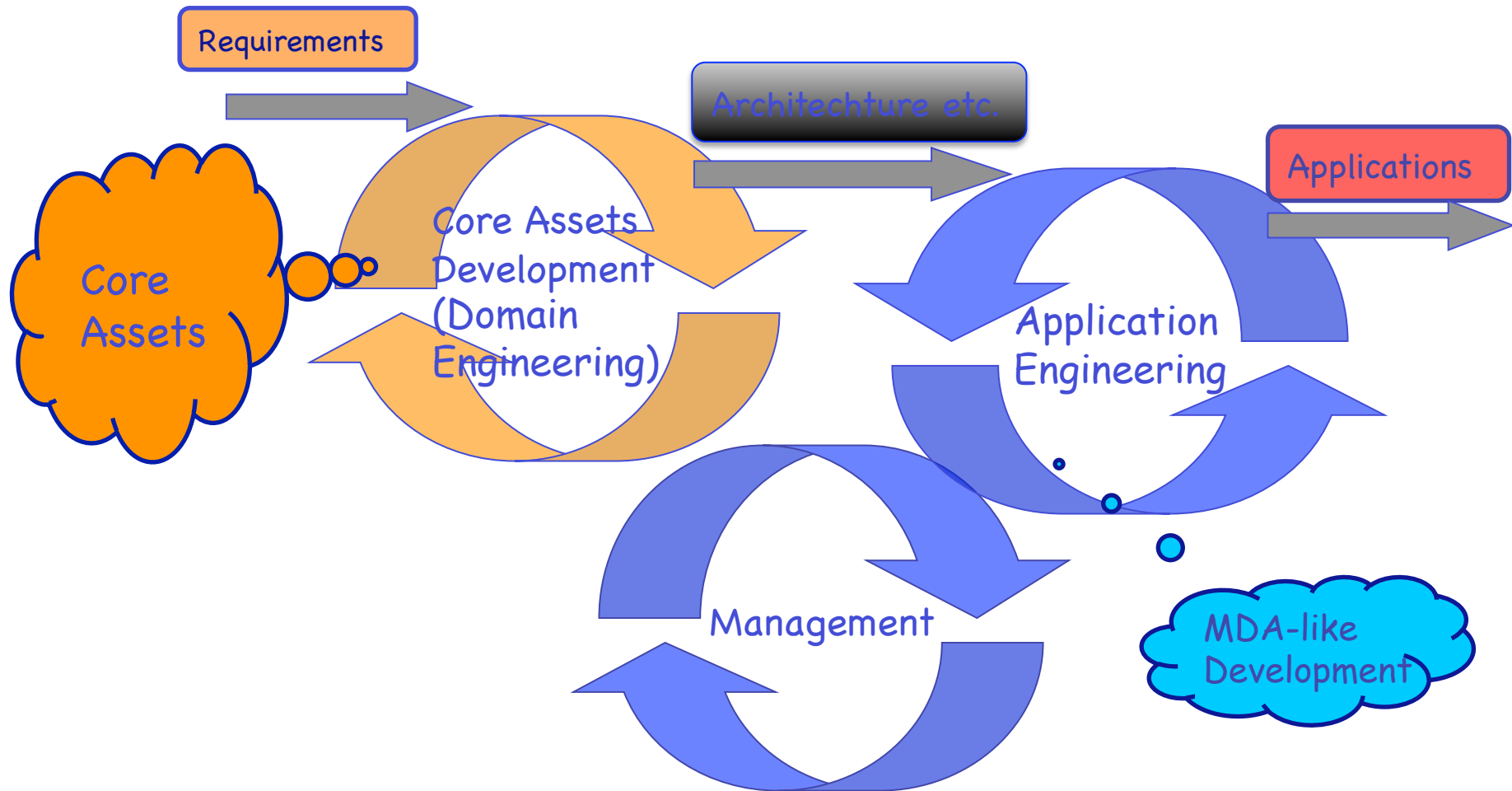
Action



- DefaultFormat
→Data
 - SpecifiedFormat
→Data
- 2通りのアクション例



PLSE プロセス



PLSEプロセス

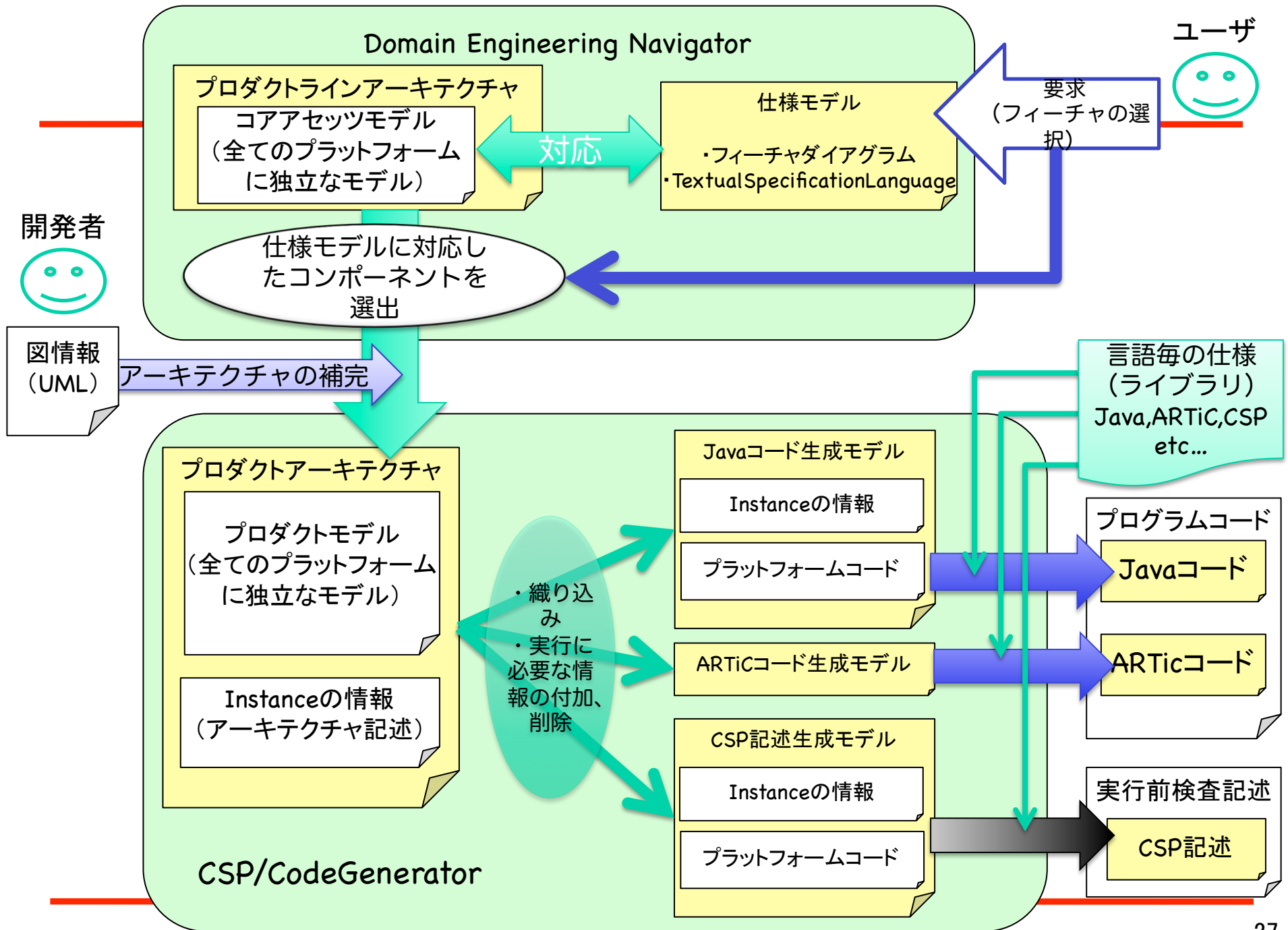
- Domain engineering side
 - Select Conceptual Architecture
 - Get Product Line Architecture
 - Build Product Architecture Frame
 - Fill PA Frame & Make Product Architecture
 - Pre-Execution Check
 - Code Generation
- Application engineering side
 - Fill Application Logic
 - Coding, Reuse & Test
 - Completion Application

Core Assets

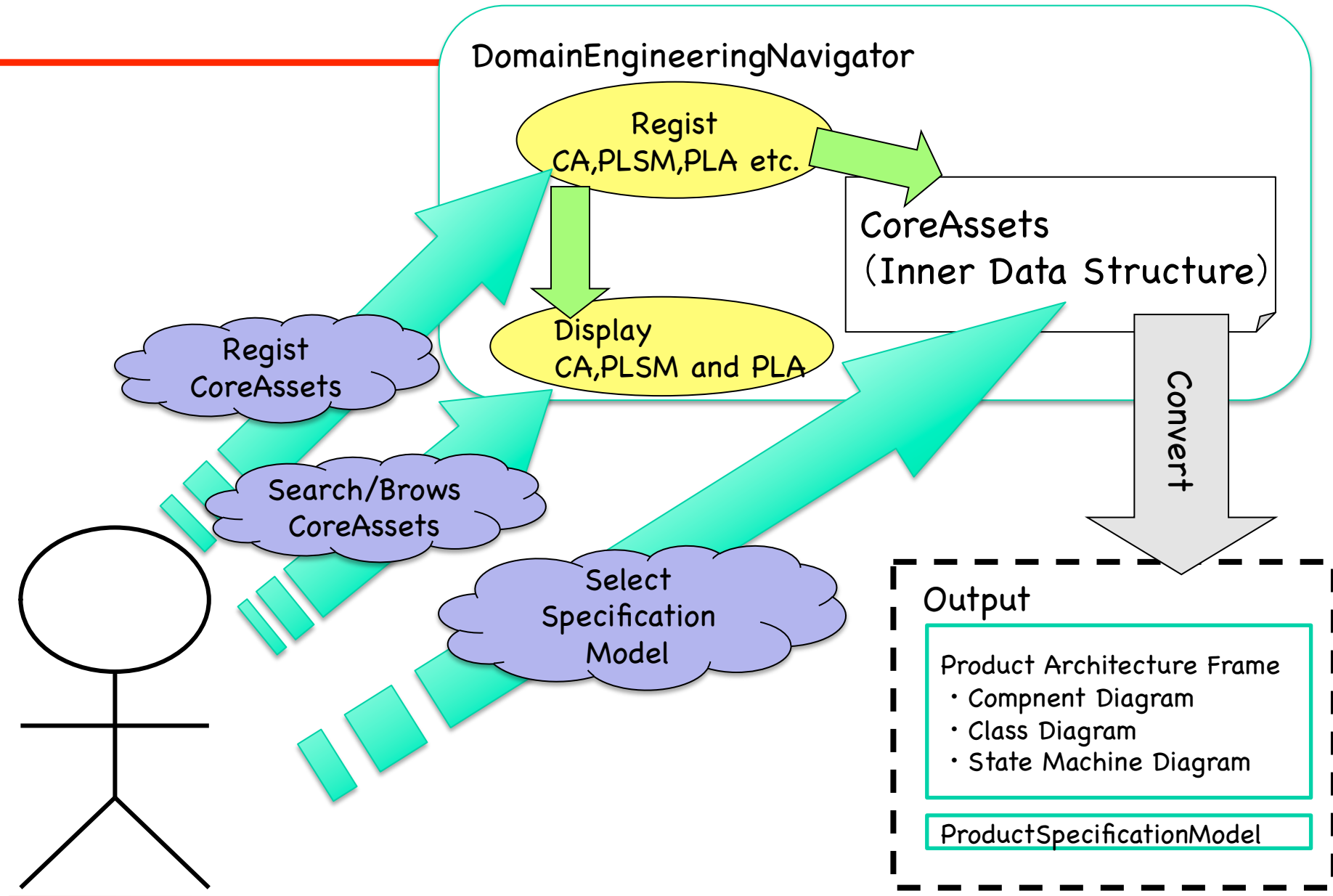
- State Transition Machine
- Inter Aspect Description
- Specification Model
- Conceptual Architecture
- Product Line Architecture
- Product Architecture
- Platform Code

PLSE支援ツール一覧

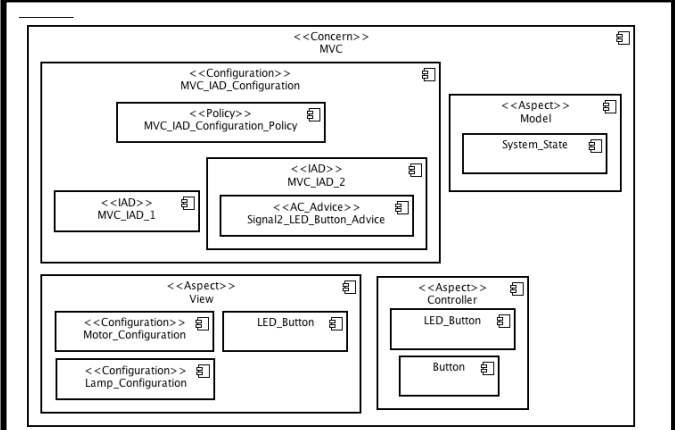
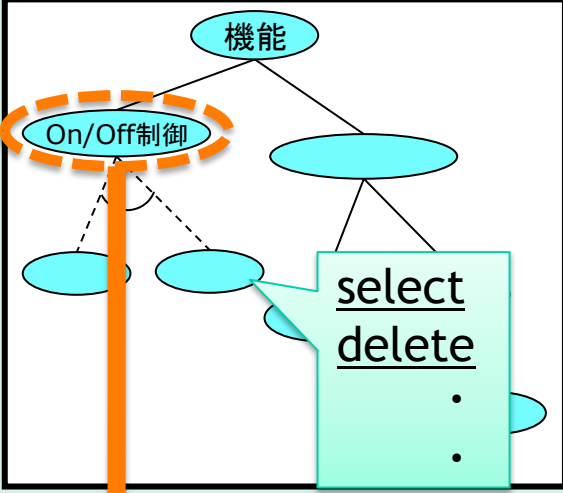
- Domain Engineering Navigator
 - プラットフォーム
 - 実行前検査ツール
 - 実行前検査記述/コードジェネレータ
-



Domain Engineering Navigator



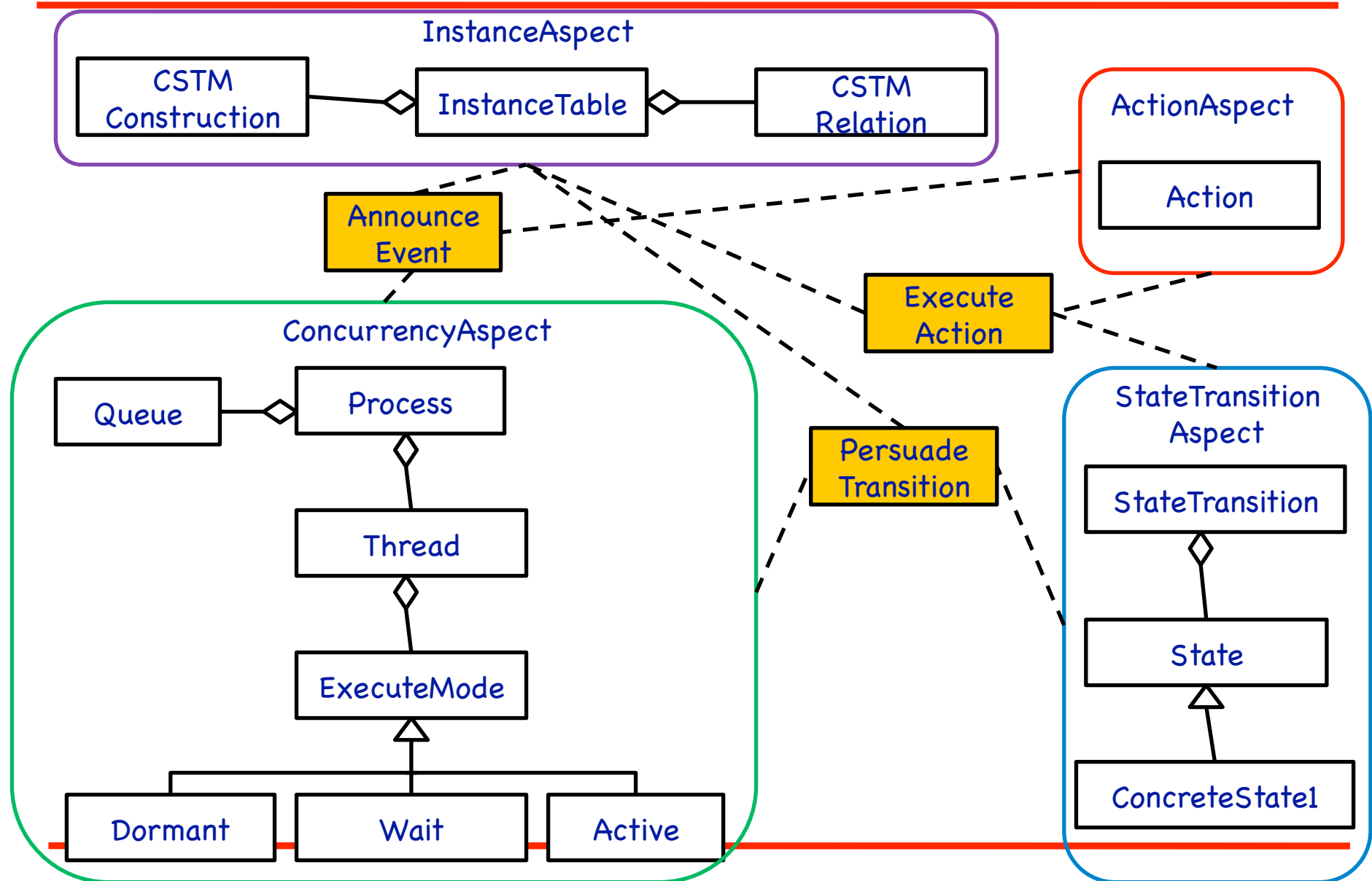
Domain Engineering Navigator -UI Image-

ProductLineArchitectureView	Component Diagram Preview	Feature View
<ul style="list-style-type: none"> -BLMS -ConceptualArchitectre •MVC •Mode -SpecificationModel •On/Off切替 •モード切替 •ステータスモニタリング • • • +ProductArchitectre +VendingMachine +PrinterSystem • • • 	<p>CA:MVC</p> 	<p>Diagram</p> 
	<p>ConceptualArchitectreSearch</p> <p>Keyword</p> <input type="text"/> <input type="button" value="KeywordSearch"/> <input type="button" value="AllSearch"/> <p>Result</p> <ul style="list-style-type: none"> -BLMS •MVC •Mode -VendingMachine •RealTime +PrinterSystem 	<p>TableView</p> <div style="border: 2px dashed orange; padding: 5px;"> <pre> FEATURE On/Off切替; DESCRIPTION ***; TYPE CAPABILITY; COMMONALITY Mandatory; COMPOSITION_RULE REQUIRE *** ALLOCATED_TO_SUBSYSTEM Component:*** END FEATURE; </pre> </div>

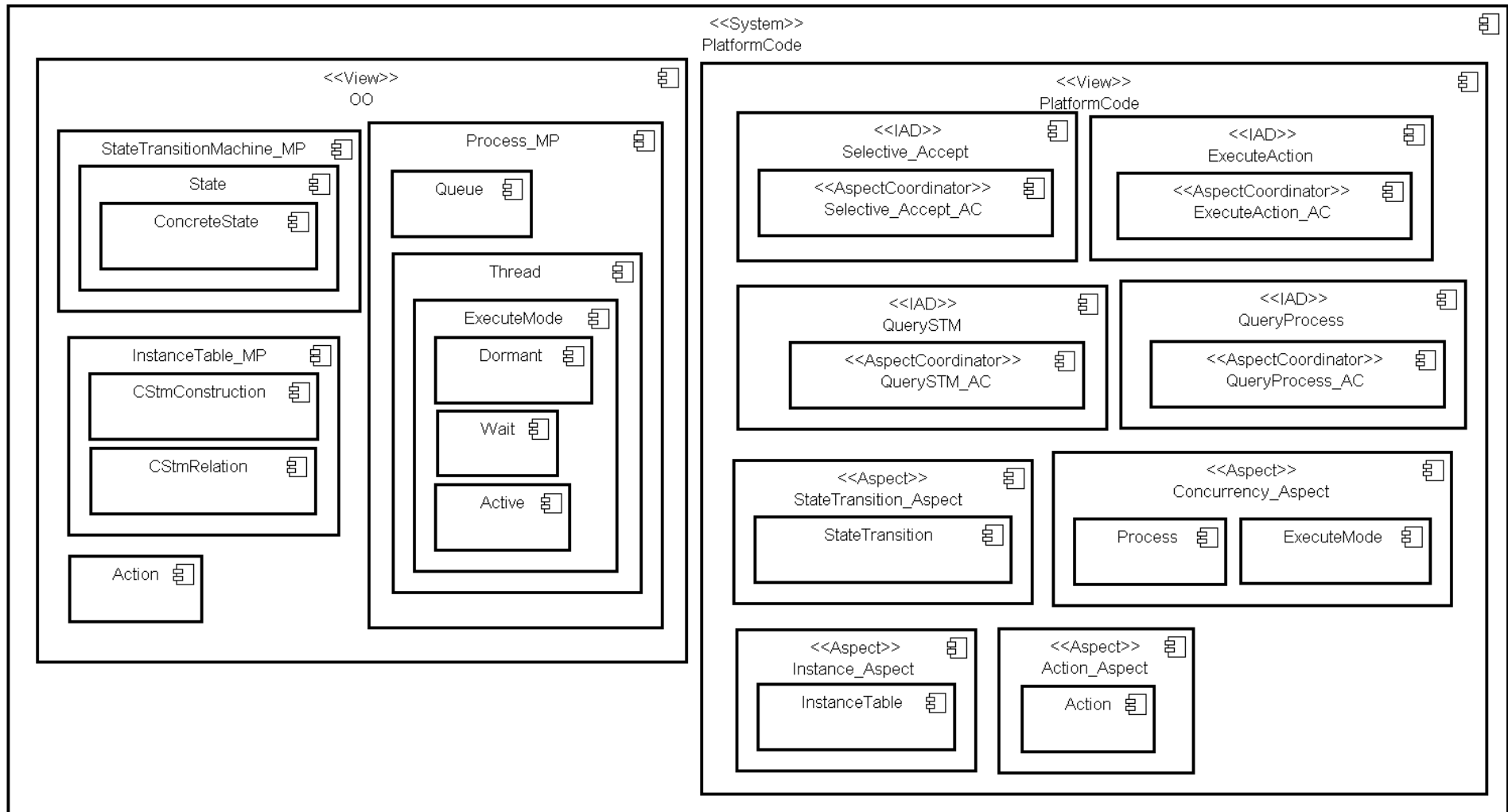
プラットフォーム仕様

- 並行に動作するCSTMの集合
 - イベントキューを介した非同期通信
 - コンポーネントの実行モード
 - アプリケーションロジック
 - インスタンス処理
-

プラットフォームのアスペクト指向設計



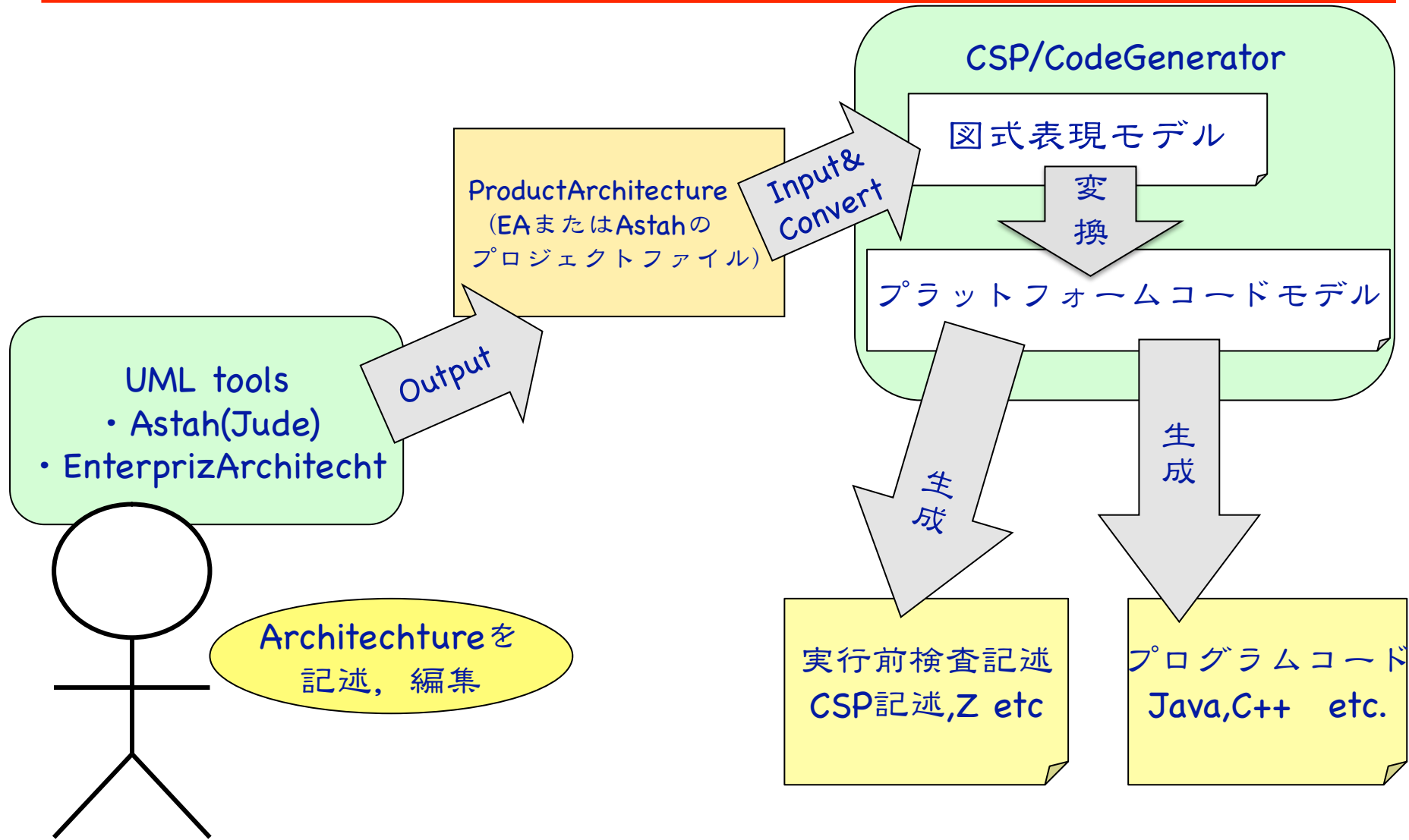
プラットフォームのアスペクト指向設計



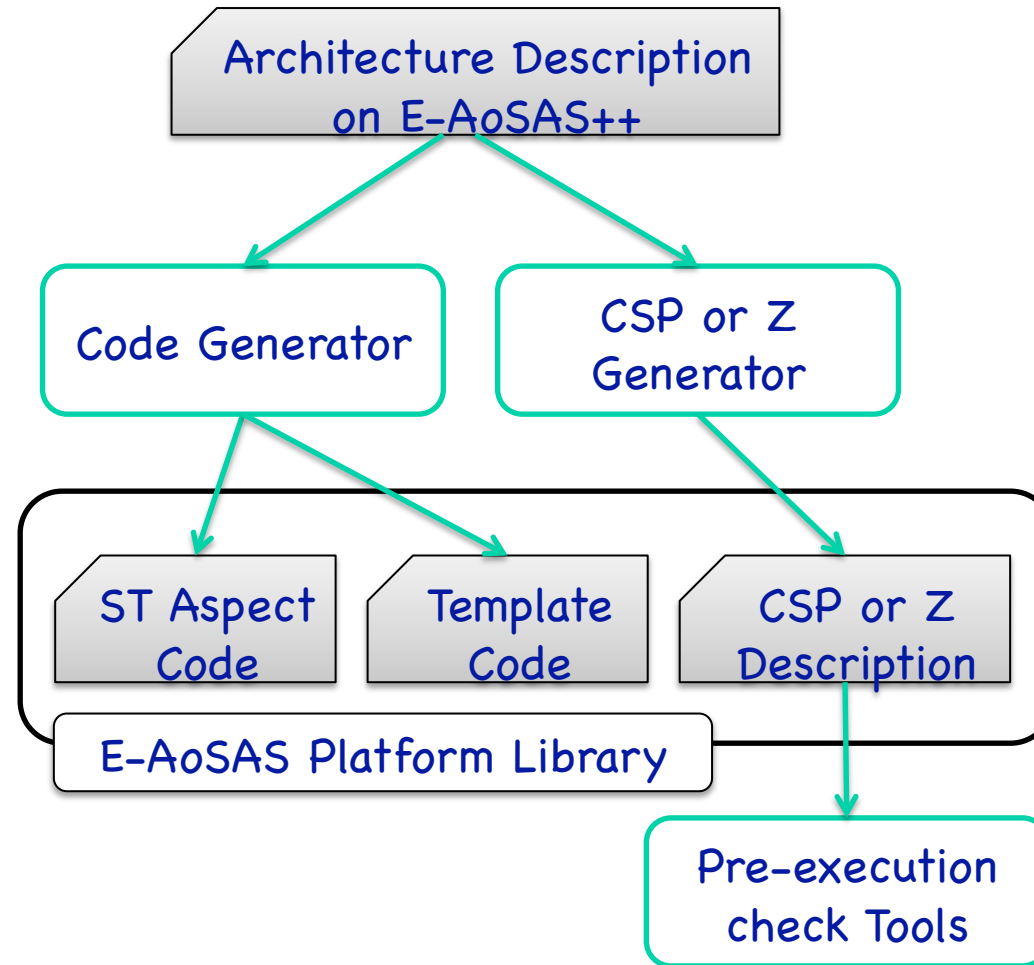
実行前検査ツール

- FDR: CSP理論に基づく並行システム検証ツール
 - 実装も仕様もCSP記述によってモデル化される
 - SPIN: Promela記述による検証ツール
 - 実装にオートマトンを用い、仕様は時相論理式によってモデル化する
-

実行前検査記述/コードジェネレータ (概要)



実行前検査記述/コードジェネレータ (データフロー)



PLEASEの実用化に向けて

- UML:ソフトウェア開発言語
 - UMLを拡張したアーキテクチャ記述を提案
 - 記述エディタとしてAstah,Enterprise Architectを利用
 - Eclipse:統合開発環境
 - Java(AspectJ),C/C++などのプラグインを利用
 - CodeGenerator等のツールの開発に利用
 - Java and other platform
 - CodeGeneratorのプラットフォームとしてJavaやC/C++, CSPやPromelaを想定
-

使用した既存のツール

- ソフトウェアツール
 - 既存のUMLエディタ
 - Astah
 - EnterpriseArchitect
 - CodeGenerator
 - Java,C/C++ Generator
 - CSP,Promela Generator
 - 既存の実行前検査ツール
 - FDR
 - SPIN
-

まとめ

- 組み込みソフトウェアを状態遷移機械の集合としてモデル化
 - アスペクト指向ソフトウェアアーキテクチャスタイルE-AOSASA++
 - PLSE環境PLEASE
 - 実際の開発に適用し開発期間の短縮を確認
-